

ひとにやさしいまちづくり推進指針（2020～2024）推進状況の管理について

1 推進状況の管理

現行指針において、ひとにやさしいまちづくりの推進状況を明らかにするため、次のとおり、主要な指標を設定し、指標の推移とともに、関係する施策の実施状況を把握し、ひとにやさしいまちづくり推進協議会に報告・協議の上、施策の改善・見直しを継続的に行うこととしている。

2 主要な指標の推移

主要な指標の実績は次のとおり。

推 進 方 向					
指 標 名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績(見込)	令和6年度 目標	単位
1 全ての人互いに支え合うことのできる「心」を醸成する『ひとづくり』					
① ひとにやさしいまちづくりの 県民認知割合	49.4	60.0	65.7	70.0	%
2 全ての人安全かつ円滑に移動でき、快適に過ごすことができる『まちづくり』					
② バリアフリー化に対応した特 定公共的施設数[累計]	102	105	106 (R5.1月末)	108	施設
③ ノンステップバスの導入率	32.7	公表待ち	R6.1月 確定予定	41.0	%
④ ひとにやさしい駐車場利用 証制度駐車区画数[累計]	1,070	1,079	1,089 (R5.1月末)	1,150	区画
3 全ての人に使いやすい『ものづくり』					
⑤ 誰もが使いやすい製品の研 究・開発支援件数[累計]	2	2	R5.7 確定予定	13	件
4 全ての人が必要なときに必要な形で受け取ることができる『情報発信』					
⑥ 手話通訳者・要約筆記者の 派遣件数	52	53	49 (R4.12月末)	80	件/年
⑦ ユニバーサルデザイン電子 マップ登録施設数[累計]	1,520	1,521	1,533 (R5.1月末)	1,580	件
5 全ての人が多様な分野で主体的な活躍できる『参画』					
⑧ 保育を必要とする子どもに係 る利用定員(4月1日現在)	32,531	32,750	32,474	33,834	人
⑨ 障がい者の雇用率	2.28	2.37	2.38	2.4	%

【各推進方向の主な指標の状況】

(1) 「ひとにやさしいまちづくりの県民認知割合」は、ひとにやさしいまちづくりセミナー（2回/年）や、ひとにやさしいまちづくり表彰等に取り組んでおり、令和4年度実績は、対前年度比で5.7ポイント上昇し、65.7%となった。

年代別では、20歳代が75.0%、30歳代が67.8%、40歳代が66.6%、50歳代が66.7%、60歳代が70.0%、70歳代以上が57.2%となっている。

(2) 「ひとにやさしい駐車場利用証制度駐車区画数」は、県広報媒体や市町村広報誌の活用による制度周知のほか、県内に複数店舗を事業展開している企業に対する個別の協力依頼に取り組んでおり、令和4年度実績見込は、対前年度比で10区画増加の1,089区画であり、車いす用駐車区画の適正な利用のため、施設側の意識や協力が高まっている。

(3) 「ユニバーサルデザイン電子マップ登録施設数」は、県広報媒体の活用による制度周知により、令和4年度の実績見込は、対前年度比で12件増加し、1,533件となっている。

(4) 障がい者の雇用率は、平成30年から毎年増加しており、令和4年度実績は、対前年度比で0.1ポイント上昇し、2.38%となり、過去最高を更新している。（法定雇用率 2.3%、全国平均 2.25%）

※ 労働政策審議会障害者雇用分科会では、令和5年度からの障がい者雇用率を2.7%とすること（ただし、雇入れに係る計画的な対応が可能となるよう、令和5年度においては2.3%据え置き、令和6年度から2.5%、令和8年度から2.7%と段階的に引き上げること）が検討されている。